

仏国からのMOX燃料輸送の終了

2025年11月17日
関西電力株式会社

仏国から高浜発電所へのMOX燃料輸送については、2025年9月7日（日本時間）に仏国からの輸送を開始し、2025年11月17日に終了しましたので、下記のとおりお知らせします。

なお、今回輸送したMOX燃料は高浜発電所3、4号機で使用する予定です。

記

接岸日時	2025年11月17日 04時32分
荷下ろし開始日時	2025年11月17日 10時10分
荷下ろし終了日時	2025年11月17日 16時29分
構内輸送開始日時	2025年11月17日 12時27分
構内輸送終了日時	2025年11月17日 18時26分
輸送船名	パシフィック・ヘロン号
輸送ルート	喜望峰／南西太平洋ルート
輸送数量	TN-12P(M)Ⅱ型4基 PWR燃料32体

以上

当社が本日実施したMOX燃料輸送容器の放射線量当量率および表面汚染密度の測定結果は下記のとおりで、法令の基準値を満足していることを確認しました。

	最大線量当量率 (mSv/h)		表面汚染密度 (Bq/cm ²)	
	容器表面	容器表面から 1 m	α	$\beta \cdot \gamma$
基準値	2 以下	0.1 以下	0.4 以下	4 以下
1 基目の測定結果	0.03	< 0.007	< 0.4	< 2
2 基目の測定結果	0.03	0.007	< 0.4	< 2
3 基目の測定結果	0.03	< 0.007	< 0.4	< 2
4 基目の測定結果	0.03	0.008	< 0.4	< 2

以 上

輸送における安全性について

1. 輸送物の種類

BM型核分裂性輸送物

2. 輸送容器の概要

型式：TN-12P (M) II型

形状：円筒形

寸法：長さ約6.2m、外径約2.5m

重量：約108.1トン（最大収納時）

材質：炭素鋼等

3. 輸送物の安全確認

本輸送物については、別添に示す国の安全基準を満たすことを、国により確認されたものです。

4. 輸送上の安全対策

輸送にあたっては、自動衝突予防援助装置付きレーダーや二重船殻構造等を有する輸送船を採用するなど、十分な安全対策を施しています。

なお、万一緊急の事態が生じた場合にも、関係省庁等に連絡するとともに、適切な措置をとることとしており、十分な安全対策を講じることとしています。

以 上

BM型核分裂性輸送物の安全基準

「危険物船舶運送及び貯蔵規則」第87条に基づき国が定めているBM型核分裂性輸送物に係わる技術上の基準の主なものは以下のとおりである。

①線量当量率：

表面で、 2 mSv/h 以下
表面から1m離れた位置で、 0.1 mSv/h 以下

②表面汚染密度：

α 線を放出する放射性物質の場合、 0.4 Bq/cm^2 以下
 α 線を放出しない放射性物質の場合、 4 Bq/cm^2 以下

また、BM型核分裂性輸送物の試験条件には、

①一般の試験条件：水の吹きつけ試験

自由落下試験

圧縮試験

貫通試験

②特別の試験条件：9m落下試験

棒上の1m落下試験

耐火試験

浸漬試験

があり、これらの厳しい諸条件下においても容器の健全性を維持し、臨界の防止を確保するよう、法令の基準値を満足している。

以 上